

No.74, 2017, Sep,

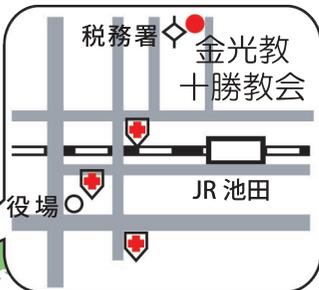
9 月・秋季霊祭号

TEL 015-572-2322
FAX 015-572-4213



いけだ

Facebook 「金光教十勝教会」



金光教十勝教会
〒083-0001
池田町旭町 1-9

<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

十勝教会 だより 74



facebook



HP(PC 専用)



金光教公式 HP

平成二十九年 秋の霊祭を迎えて

金光教十勝教会

「生きても死にても天地のごやっ
かいになることを悟れ」
「生きても死にても天と地は我が
住みか」

私たち人間は天地の中で天地
の働きに支えられ生きています。



十勝教会奥城（お墓）の碑文

一時も休むことのない太陽や
月など「天」の働き、もの皆を
はぐくむ「大地」と「海」、その
「天と地の間」にふる雨や雪、な
によりもなくてはならない空気
などなど：： 天地の働きがなけ
れば私たちは生きていくことが
できません。

金光教の神様「天地金乃神」
様はこの天地をご神体とされる
神様です。その天地のお働きを
私たちは神様といただいています。
私たちは人間をはじめすべて
のいのちは、神様のお働きに支
えられ生きています。

そして冒頭の御教えのように、
金光教祖は「(人は) 死んでも天

地に住み、天地のごやつかいになる」とも仰っています。

○ 人が亡くなるとその「魂」は西方浄土や黄泉国よみのくになど遠く私たちの暮らす世界とは隔てられた別の世界へ行ってしまうイメージがあります。しかし、教祖様が仰るには、亡くなられた方の「みたま」(魂)は、どこへ行くのでも無く、私たちと同じ天地の中にいるというのです。

○ とは言っても、「みたま様」は目に見えず、手で触れることもできませんから、私たちと同じように天地の中にいると言われるてもなかなか納得できません。

○ 教祖様は、「人は神様から『分けみたま』をいただいて生まれ、死ぬときはその『分けみたま』



が身体とはなれ神様の元へ戻ると教えられています。「生きていく姿」と「死んでからの姿」、その違いは目に見える身体からだがあるかどうかともいえるでしょうか。

○ 生きている時は「身体からだ」と「みたま」が一緒にあり、死んだ後は「みたま」だけになる。それが生死の違いだともいえます。

○ 私たちは、身体が無くなると姿を見ることができなくなるので、全てが無くなってしまったように思ってしまうですが、決してそうではないということでは

す。

曇りの日には太陽や月を見ることはできませんが、太陽も月も消えてしまったわけではありません。それと同じように「みたま」は姿が見えなくても消えることは無いのです。

○ 私たちは家族や隣人はじめ多くの人と共に暮らしていますが、それと同じように、目に見えないだけで、いつも「みたま様」と共に暮らしているともいえます。

○ そして「みたま様」は姿こそ見えませんが、私たちと同じように、天地の中でそれぞれに働いておられます。身体がありませんから人間のような目に見えない働きはできませんが、家族や子孫、親しかった人たちを守る

目には見えない「みたまながらの働き」を現してくださっています。そして神様の許へ戻られた「みたま様」は私たちと神様を繋ぐ働きを現してくださっています。

目に見ることができない「みたま様」のお働きですが、私たちにも目に見えない働きがあります。それは「心」の働きです。誰も自分の心を目で見えることできません。目に見えない「みたま様」の働きは、目に見えないもの同士、私たちの心へ届いてくれるはずでです。ただし、私たちに「みたま様」を思う心が無ければ、せっかく「みたま様」がお働きくださってもなかなか届きません。

季節を分ける秋の霊祭に「みたま様」へあらためて心に向け、お礼の気持ちを感じ、
「みたま様」と共に働き合ってくださいませよう。

教会 日誌

平成29年4月1日から7月まで

4月1日 勸学祭

4月5日 薫別講社、天地金乃神大祭



写真 - 勸学祭



写真 - 薫別講社天地金乃神大祭

4 月 9 日 大祭前大掃除、大祭打ち合わせ
 4 月 14 日 大祭前御用奉仕
 4 月 16 日 天地金乃神大祭（写真）



御神伝奉読・網走教会長
菊川先生

吉備舞奉納

参拝者代表玉串（上も）



祭典後の直会宴

教話・釧路教会長
江郷先生

4 月 23 日 帯広教会大祭、交流参拝

4 月 27 日 陸別町、S 家、式年祭

4 月 29 日 夕張教会大祭、教会長祭主奉仕、交流参拝

4 月 30 日 滝上教会大祭、千鶴子先生教話御用

5 月 3 日 北見教会大祭、教会長教話御用

5 月 13 日 函館教会大祭、教会長参列

5 月 21 日 網走教会大祭、交流参拝

5 月 23 日 本部教師研修会、みよ子先生出席、25 日まで

5 月 28 日 釧路教会大祭、交流参拝

6 月 2 日 陸別町、I 家、奥津改修奉告祭

6 月 3 日 札幌市、M 家、式年祭

6 月 4 日 函館東部教会布教九十年記念祭、教会長参拝

6 月 10 日 月例祭に併せ境内清掃

6 月 11 日 帯広市、S 家、式年祭

6 月 18 日 音更町、O 家・T 家、式年祭

6 月 25 日 上半期感謝祭



写真 - 境内清掃 (6 月、7 月)



写真 - 上半期感謝祭

6月28日 壮年教師研修会、みよ子先生出席、29日まで

6月30日 池田町、M家、式年祭

7月2日 札幌市、M家、式年祭

7月8日 道東地区教会連合会交流会・研修会、滝上教会、9日まで、10日名参加

7月22日 月例祭に併せ境内清掃



写真 連合会研修会（8頁まで）

滝上町に岡本政道先生（後の滝上町長、滝上教会会長）に率いられた金光団体（岡山県）が入植したのは明治42年のことです。開拓は困難を極めました。今に続く町の基礎を築かれました。

上 右 岡本先生の胸像（役場前）
上中左 「金光橋」（かつての入植地周辺）

下 現・滝上教会お広前



滝上開拓地巡り



農業用水（滝西堰堤）を探してヤブを進む



かつての森林鉄道の橋脚

旧岡本邸にある岡山様式の土蔵



懇親会 --- 滝上教会の境内にて





研修会（会場・童話村交流プラザ） DVD を使った映像研修を行いました。
内容は 120 年以上前に遡る「北海道布教について」、石巻教会長による「東日本大震災の避難体験について」の二本でした。



これからの教会祭典と行事

生神金光大神大祭

11月19日（日）午前11時

大祭前大掃除・大祭打合せ

11月12日（日）午前10時

越年感謝祭

12月31日（日）午後1時30分

関係教会 秋の大祭日程

釧路教会 10月22日（日）11時

北見教会 11月 3日（祝）11時

帯広教会 11月 5日（日）11時

網走教会 10月29日（日）11時

滝上教会 10月15日（日）11時

夕張教会 11月 3日（祝）11時

函館教会 11月13日（月）13時